

高校公民プリント（過去問類似）

西洋の近現代思想 No.5

名前

得点

/10

問1 ドイツの哲学者ヘーゲルは、現実世界を固定的なもののみならず、矛盾や対立を契機として、それらがより高い次元へと統合（アウフヘーベン）されながら発展していくプロセスとして捉えた。このような、対立を通じて事物が生成変化していく思考のプロセスや論理を何と呼ぶか。（2006年 全国公立入試 類似）

1. 演繹法 2. 帰納法 3. 弁証法 4. 問答法

問2 カルヴィニズムにおける禁欲的な職業倫理が、結果として営利活動を合理化・正当化し、近代ヨーロッパにおける資本主義の精神を誕生させる原動力となったことを、著書『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』で論じたドイツの社会学者は誰か。（2024年 全国公立入試 類似）

1. マックス・ウェーバー 2. ヴェルナー・ゾンバルト 3. ゲオルク・ジンメル 4. カール・マルクス

問3 18世紀後半のイギリスの経済学者であり、国家による経済への介入を批判し、自由放任主義（レッセ・フェール）を唱えた人物は誰か。彼は、個人が自己の利益を追求して自由な経済活動を行うことが、市場の価格調整メカニズムを介して、結果的に社会全体の富や利益を増大させると主張した。（2017年 全国公立入試 類似）

1. トマス・マルサス 2. アダム・スミス 3. ジョン・ケインズ 4. カール・マルクス

問4 実験と観察を重視し、自然現象を数式による因果法則として解明しようとしたイタリアの科学者が、地動説を擁護したことで宗教裁判にかけられる契機となった、1632年に刊行された主著は何か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 方法序説 2. 天文対話 3. 哲学書簡 4. 統治二論

問5 国家の権力は人民の自然権を保障するために一時的に委ねられたものであり、統治者がこの信頼に反して人民の権利を侵害した場合には、人民は実力をもってこれに立ち向かい、新たな統治者を組織する権利を有すると主張した、17世紀後半のイギリスの思想家は誰か。（2023年 全国公立入試 類似）

1. ロック 2. ホブズ 3. スピノザ 4. ルソー

問6 道徳の根拠を人間の理性の自律に求め、他者を自己の利益のための手段としてのみ扱うのではなく、それ自体が価値を持つ目的として互いに尊重し合うべきであると主張した、近代ドイツの哲学者は誰か。（2019年 全国公立入試 類似）

1. カント 2. ルソー 3. ロック 4. アラン

問7 『社会契約論』を著した思想家が提唱した概念で、個人の私利私欲や特殊な利益の総和（特殊意志や全体意志）とは異なり、共同体全体の共通の利益を志向する不謬の意志を何と呼ぶか。（2019年 全国公立入試 類似）

1. 全体意志 2. 共同意志 3. 特殊意志 4. 一般意志

問8 ドイツの社会学者マックス・ウェーバーが提唱した支配の類型のうち、歴史上の預言者や英雄、あるいは強力な政治指導者のように、非日常的な資質や天賦の魅力に対する帰依や信頼に基づいて成り立つ支配の形態を何というか。（2020年 全国公立入試 類似）

1. 伝統的支配 2. 官僚制的支配 3. 合法的支配 4. カリスマ的支配

問9 コントが提唱した、神学的段階や形而上学的段階を脱し、観察や実験によって得られた事実とその相互関係のみを知識の基礎とみなす、社会の進歩に対応した哲学的な立場を何というか。（2015年 全国公立入試 類似）

1. 実存主義 2. 功利主義 3. 実証主義 4. 合理主義

問10 19世紀後半のドイツの思想家は、キリスト教的な価値観が崩壊したニヒリズムの時代において、目的も意味もなく同じことが無限に繰り返される「永劫回帰」という過酷な現実を提示した。この思想家が、このような虚無的な現実を「運命愛」によって肯定的に受け入れ、自らの「カへの意志」に従って新たな価値を創造していく存在として提示した、理想的な人間像を何と呼ぶか。（2016年 全国公立入試 類似）

1. 人格 2. 超人 3. 賢者 4. 紳士

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え 3 弁証法	ヘーゲルは、万物が固定されたものではなく、矛盾や対立を契機としてより高い次元へと統合（アウフヘーベン／止揚）されながら生成変化していくと考えた。この動的な発展のプロセスを説明する論理が弁証法である。
問2	答え 1 マックス・ウェーバー	宗教改革によって生まれたプロテスタンティズム（特にカルヴィニズム）の世俗的禁欲の倫理が、近代資本主義の形成に決定的な影響を与えたことを社会学的に分析した。カトリックの伝統的な経済観とは異なり、労働を神聖視する態度が資本の蓄積と合理的な経営を促したと指摘した。
問3	答え 2 アダム・スミス	自由放任主義（レッセ・フェール）を提唱し、市場における「見えざる手」の働きを重視したイギリスの経済学者はアダム・スミスである。彼は著書『国富論（諸国民の富）』において、各人が自己の利益を最大化しようと行動することが、結果として社会全体の利益につながると説き、重商主義的な国家の介入を批判した。
問4	答え 2 天文対話	コペルニクスの地動説（太陽中心説）とプトレマイオスの天動説（地球中心説）について、登場人物たちの対話形式で論じた著作である。著者は実験と観察に基づく定量的アプローチを重視し、近代自然科学の基礎を築いたが、本書の出版によりカトリック教会から異端審問にかけられ、地動説の撤回を求められた。
問5	答え 1 ロック	人民が自然権を守るために政府に権力を信託し、政府がそれを濫用した場合には抵抗権や革命権を行使できるという社会契約説を唱えたのは、イギリスの思想家ロックである。彼の思想は『市民政府二論（統治二論）』にまとめられ、のちの市民革命に大きな影響を与えた。
問6	答え 1 カント	理性の自律に基づく道徳法則に従う主体を「人格」と捉え、他者を単なる手段として利用するのではなく、常にそれ自体を目的として尊重すべきであると説いた。この人格の尊厳を重視する倫理思想は、近代の人権思想や倫理学の発展に決定的な影響を与えた。
問7	答え 4 一般意志	ルソーは、社会契約によって形成される共同体において、単なる個人の私利私欲の足し合わせである「全体意志」とは区別される、社会全体の共通の利益を志向する「一般意志」を重視した。この意志に基づく政治を行うことで、自由と平等の両立が図られると考えた。
問8	答え 4 カリスマ的支配	マックス・ウェーバーは、支配の正当性の根拠を3つに分類した。非日常的な資質や魅力（カリスマ）に対する帰依に基づく支配はカリスマ的支配と呼ばれる。預言者や英雄、革命指導者による支配がこれに該当する。これに対し、古くからの慣習や家系などの正当性に基づくものは伝統的支配と呼ばれる。
問9	答え 3 実証主義	コントは、人間の知性が神学的段階、形而上学的段階を経て、最終的に観察や実験に基づく実証的段階へと至ると主張した。この立場は、形而上学的な独断を排し、科学的な方法によって社会や自然を把握しようとするものであり、近代社会学の誕生に決定的な影響を与えた。
問10	答え 2 超人	ニーチェは、キリスト教的道徳の崩壊によるニヒリズムを克服するため、既存の価値観に依存せず自ら価値を創造する主体を「超人」と呼んだ。超人は、世界が目的なく無限に繰り返される「永劫回帰」という過酷な現実を「運命愛」によって肯定し、自らの生を高めようとする「力への意志」に基づいて行動する。